

2011年5月26日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

関高校との高大連携「医学概論」

大学学長が関高生に「医学」について講義

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、関高校と連携して「医学概論」を毎年、開講しています。本学はこれまで、高校生の皆さんが高校時代から「大学での学び」につながるようなプログラムを提供し、次世代の人材育成に努めてきました。この高大連携講座では、本学の有する福祉、医療、教育、経営などの専門分野において、高校生が「学ぶことの楽しさ・知ることの喜び」を実感してもらいながら、知的好奇心を高め、自己の進路を具体的に描くことの一助になることを主な目的としています。**6月8日は授業を大学で行い、岡本学長自らが講師を務め、高校生に感覚器の仕組みなどについて講義**を行います。（詳細は別紙参照）

記

- 日 時 2011年6月8日（水）午後3時40分～午後5時30分
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス 11301 教室
（関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL:0574-24-2211）
- 参加者 関高校生20名、引率教員
- 講 座 第2回「医学概論」
 - ・演 題 「感覚器の仕組みとその働き」
 - ・内 容 手で物を見る、目で音を聞くとはどういうことか
 - ・講 師 岡本 健 大学学長

【授業の流れ】	15:40着	15:50-17:00	17:10～17:25
	大学玄関	講 義	大学見学（リハビリ棟、グレースホール）

[参考資料]

- ※ 資料① 高大連携
- ※ 資料② 医学概論スケジュール

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 高大連携推進委員会（担当：学生部長 安藤） TEL:0575-24-2214（関キャンパス内）

高大連携のねらいと現状

1 「趣 旨」

- 1) 未来を担う若者たちの育成にあたり、高等学校と大学が長期的な展望に立って連携協力を行い、共同して、地域・社会に貢献する有為な人材を育成する。
- 2) 高校生が大学での学びに触れることにより、学習意欲や知的好奇心を高めるとともに、適切な進路選択、職業選択を行うことができるよう支援する。
- 3) 高等学校と大学との相互交流により、後期中等教育としての高等学校教育と、高等教育としての大学教育の相互の活性化に資する。
- 4) 大学入学前教育、リメディアル教育のあり方を検討するなど、高等学校教育と大学教育の円滑な接続を図る。

2 「交流テーマ」

- 1) 大学の講義への高等学校生徒聴講生の受け入れ（高大連携講座など）
- 2) 高等学校の学習活動や特別活動などの諸活動に対する大学の資源提供・支援・交流（出前講座などの講師派遣、教室等施設・備品の提供など）
- 3) 高等学校の生徒及びその保護者向け講座の開設・開講（講師派遣など）
- 4) 教育に関する諸問題についての情報交換と教職員の交流
- 5) その他双方にとっての有益な事業の実施

3 2010年度までの高大連携校（18校、順不同）

岐阜地区：済美高校、岐阜総合学園高校、岐阜各務野高校、山県高校、長良特別支援学校、岐阜農林高校

西濃地区：大垣桜高校、大垣養老高校

中濃地区：関高校、関商工高校、関有知高校、郡上高校

可茂地区：東濃実業高校、加茂農林高校

東濃地区：土岐紅陵高校、恵那農業高校

飛騨地区：益田清風高校、飛騨高山高校

2011年度「医学概論」年間計画

敬称略

- 第1回 5月25日(水) 担当：岡本 健
演題：医学の歴史について
内容：医学はどのように進んできたか
※ 開講式も実施
- 第2回 6月8日(水) 担当：岡本 健
演題：感覚器の仕組みとその働き
内容：手で物を見る、目で音を聞くとはどういうことか
※ 大学(関キャンパス)で実施
- 第3回 6月15日(水) 担当：奥山 牧夫
演題：心臓・血管系の仕組みとその働き
内容：“いのち”を支える
- 第4回 6月22日(水) 担当：奥山 牧夫
演題：内分泌系の仕組みと働き
内容：生体の内部環境はこうして維持される
- 第5回 6月29日(水) 担当：鵜飼 建志
演題：スポーツ障害学は楽しい
内容：理学療法士として学識を生かすトレーナー
- 第6回 7月6日(水) 担当：横山 さつき
演題：保健師・看護師は楽しい
内容：幅広い活動の場で活躍する看護職の魅力
- 第7回 7月13日(水) 担当：山崎 節子
演題：理学療法士は楽しい
内容：生きる力を引き出すリハビリ
- 第8回 9月14日(水) 担当：林 陽子
演題：保育士・幼稚園教師は楽しい
内容：こころやからだの育ちを支える
- 第9回 10月27日(水) 担当：松波 謙一
演題：脳と神経の仕組みとその働き
内容：見ているのも聞いているのも脳、脳とこころ
- 第10回 11月9日(水) 担当：三上 章允
演題：医学・医療の未来を語る
内容：医療技術の発展がもたらす光と陰
※ 全体の質疑と閉講式を実施。